

昨年発布された教皇フランシスコの『回勅ラウダート・シ』とともに暮らす家を大切に』の翻訳出版、2011年の司教団メッセージの根拠や裏づけを示すために編纂された『今こそ原発の廃止を』の出版、そして福島原子力発電所事故から5年半後に原子力発電の撤廃を呼びかける新たな司教団メッセージの発表を記念して、このシンポジウムを企画しました。

すべてはつながっているのです。貧しい人、排除された人の叫びを聞くことなく、環境危機の解決はできません。すべての被造物に対する人間の責任を自覚するように、と『ラウダート・シ』は訴えています。

教皇の呼びかけに耳を傾け、これに呼応するものとして日本における社会的かつ環境的な危機—原子力発電—の撤廃を訴える司教団メッセージを受けとめてください。

「父よ、あなたが造られたすべてとともに、あなたをたたえます」

教皇フランシスコの「被造物とともに生きるキリスト者の祈り」より



2016年12月14日(水)

18時より20時

東京・四谷

カトリック麹町 聖イグナチオ教会
ヨセフホール

JR 中央線 四谷駅 (麹町出口 徒歩1分)

東京メトロ 丸の内線・南北線 四谷駅 (赤坂出口 徒歩1分)

●お申し込み 不要 ●参加費 無料

●登壇者

高見三明大司教 (司教協議会会長・長崎大司教区)

浜口末男司教 (社会司教委員会委員長・大分司教区)

勝谷太治司教 (正義と平和協議会担当司教・札幌司教区)

大塚喜直司教 (前社会司教委員会委員長・京都司教区)

●講話

瀬本正之師 (イエズス会司祭)

光延一郎師 (イエズス会司祭)

●司会

松浦悟郎司教

(難民移住移動者委員会委員長・名古屋司教区)

主催：日本カトリック司教協議会 社会司教委員会

お問い合わせは カトリック中央協議会 社会福音化推進部

Tel. 03-5632-4413 E-mail social-concerns@cbcj.catholic.jp

「父よ、あなたが造られたすべてとともに、あなたをたたえます」

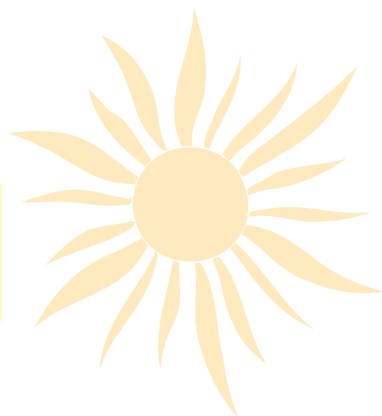
教皇フランシスコの「被造物とともに生きるキリスト者の祈り」より

大気、海洋、河川、土壌の汚染、生物多様性の喪失、森林破壊、温暖化、砂漠化、山積された廃棄物……。人間の活動が他者と全被造物とに与える影響に関する、連帯と正義の観点からの考察。しわ寄せを被る開発途上国と将来世代に対し、担うべき責任とは何かを問う。

『回勅ラウダート・シーとともに暮らす家を大切に』より抜粋

- 聖書において、解放し救ってくださる神は、宇宙を創造されたかたと同じ神であり、神のその二つの働きは密接につながっていて分かつことはできません。
- 他者との、そして神とのかかわりから隔絶した環境とのかかわりなどありうるはずもありません。
- 今日認識すべきなのは、真のエコロジカルなアプローチは、つねに社会的なアプローチになるということ、すなわち、大地の叫びと貧しい人の叫びの双方に耳を傾けるために、環境についての討論の中に正義を取り入れなければならないということです。
- わたしたちは、環境危機と社会危機という別個の二つの危機ではなく、社会的でも環境的でもある一つの複雑な危機に直面しているのです。解決への戦略は、貧困との戦いと排除されている人々の尊厳の回復、そして同時に自然保護を、一つに統合したアプローチを必要としています。

『回勅ラウダート・シ ーとともに暮らす家を大切に』
LAUDATO SI' 教皇フランシスコ
A5判 240頁 本体価格：1,400円
発行：カトリック中央協議会



東日本大震災から8か月後の2011年11月に司教団が発表した脱原発のメッセージを補完して、科学的、哲学的、神学的な裏づけをなす。核エネルギー利用の歴史をひもとき原発事故当事国である日本の責任を問い、核技術に関する科学的な解説をなしたうえで、カトリックの教理と現代の環境思想を踏まえた核をめぐる倫理的な考察を展開する。

『今こそ原発の廃止を 日本のカトリック教会の問いかけ』より抜粋

- わたしたちが、「人間の限界をわきまえた英知」において科学技術を過信せずに、原子力発電の「安全神話」を見抜くこと。
- わたしたちは「利益や効率を優先する経済至上主義ではなく、尊いいのち、美しい自然を守る」立場を選択すべきであること。
- 危険な放射性廃棄物を大量に蓄積し、その保管責任などの負の遺産を未来世代に負わせたことを「倫理的な問題」として捉え直し、考えること。
- これまでの原発推進の国策を、自然エネルギーの開発と推進を最優先するものへと変えてゆき、電気エネルギーに過度に依存した生活を改め、わたしたちの生活全般を転換していくこと。
- わたしたちキリスト者は、キリスト教の「清貧」という精神から、福音の精神に基づく単純質素な生活様式を選び直すべきであること。

本書の目的は、上記の提言の根拠や裏づけを示すことです。



『今こそ原発の廃止を 日本のカトリック教会の問いかけ』
日本カトリック司教協議会『今こそ原発の廃止を』編纂委員会・編
A5判 288頁 本体価格：1,800円
発行：カトリック中央協議会

